古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和5年度No.1 4月14日 (文責 校長 小林 敏朗)

新年度、令和5年度の1学期がスタートしました。今年度も変わりませず、本校の教育活動にご理解・ご協力・ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

始業式から・・・

4月10日(月)から1学期が始まりました。始業式では、子どもたちに次のようなお話をしました。

今日から、古志原小学校の新しい1年がスタートします。進級して新しい学年になり、新たな気持ちでがんばろうと思っていることと思います。

これから、この1年間こういう古志原っ子になってほしいなということを3つ話します。

一つ目「<u>自分を大切にする</u>」古志原っ子。自分の命や体はもちろん大切にして、さらに自分の気持ちや感じたこと、考えたことを大切にしてください。

二つ目「<u>友達を応援する</u>」古志原っ子。勉強や生活の中で友達の話をよく聞き、友達を応援しながら、自分も友達も一緒に伸びていってほしいと思います。

三つ目「<u>粘り強くがんばる</u>」古志原っ子。つらいことをやめたくなることってあるよね。そういうときも、あきらめずに最後までがんばってほしいです。つらくなったり、あきらめそうになったりしたら、「右を見て!」みんなの応援団・先生方もいらっしゃいますので安心してくださいね。

これから一年、たくさんの学習や行事などがあります。新しい学年で、みんなと力を合わせ、そして 先生たちも一緒になって素敵な学校をつくっていきましょう。

「自分を大切にする」「友達を応援する」「粘り強くがんばる」の3つを柱にしてお話をしました。後日お知らせしますが、今年度の学校経営の大きな柱に「自己肯定感」を挙げています。この3つの柱は、すべて自己肯定感につながることと考えています。これら3つのことが学校でしっかりできるよう子どもたちには指導・支援していこうと思っています。

また、この始業式の話の後に追加して「今朝うれしかったこと」として2つ話しました。一つ目は、昇降口前で元気よく「おはようございます」とあいさつしてくれた人が多くいたことです。たぶんですが、200人は超えていたと思います。二つ目は、全員の子どもたちが下駄箱に靴を揃えて入れていたことです。これは簡単なようで難しいことです。毎朝のあいさつの輪がさらに広がり、靴を揃えて下駄箱に入れることが継続していけるように声かけをしていきたいと思います。

入学式から…

4月11日(火)に今年度の入学式を行いました。当日は、雲一つない快晴であたたかく、天気も新1年生の入学を祝福しているようでした。そして、入学式も心あたたまる式になりました。









入学式で私からは、50 音の最初の文字「あ」にからめて、小学校生活でがんばってほしい3つの「あ」を贈りました。一つ目は安全の「あ」です。交通事故に遭わないよう気をつけて生活してほしいという願いを伝えました。二つ目は「挨拶」の「あ」です。「おはようございます」「さようなら」の挨拶をしてほしいという思いを話しました。三つ目は「ありがとう」の「あ」です。お世話になった人にはきちんと「ありがとう」が言える人になってほしいという思いを伝えました。

103名の新1年生が入学し、全校児童658名での令和5年度古志原小学校がスタートしました。この1年間、子どもたち一人一人としっかりと向き合い、子どもたちの成長をしっかりと支えていきたいと思います。

そして、入学式の次の日・・・

入学式の次の日。新1年生にとっては、初めての集団登校の日。朝早く(主に登校前あたりの時間帯に)雨が降っていました。初めての集団登校に加えて、雨になるなんて大変だなと思いながら学校に来ました。そして、昇降口前で立っていると1年生は多くの子がカッパを着て登校して来ました。カッパを脱ぐことやハンガーに掛けることなど大変だろうなと思い、1年生教室に行ってみると、右の写真のように6年生の子どもたちが手伝ってくれていました。「さすが6年生!」です。ありがたいことです。本当に頼りになる6年生です。

私は常に学校の空気を創るのは最高学年の6年生だと考えています。今年の6年生にも期待大です。6年生が学校中に素敵な空気、あたたかい空気を創ってくれるといいなと思っています。



昨年度、地域の方とお話をする機会があったときに「学校だより、ちゃんと読んでるよ!」という声を 複数の方からいただきました。とてもうれしく思い、かつ、これからもがんばらねばと思いました。今年 度も懲りずに(?)学校だより「えがおいっぱい」を発行します。ご一読いただければ幸いです。この学 校だよりも1年間よろしくお願いいたします。